

造血前駆細胞数による末梢血幹細胞採取予測の有用性評価に関する情報公開

1. 研究の対象

2018年4月1日～2021年12月28日の間に、当院にて末梢血幹細胞採取を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的

これまで末梢血幹細胞の採取時期の評価には、静脈血中の CD34 陽性細胞数 (PBCD34) が有用であると報告されています。先行報告では、PBCD34 が 20/uL 程度あれば $2.0 \times 10^6/\text{kg}$ の CD34 が採取可能とされていますが、CD34 測定にはフローサイトメトリーを用いており、時間とマンパワーを要することが課題です。最近、自動血球分析装置を用いて測定可能な造血前駆細胞 (hematopoietic progenitor cell : HPC) と PBCD34 の関連が注目されています。しかしながら、HPC と PBCD34 の関連については、対象症例の疾患、年齢、化学療法歴などにより、結果は様々であり不明な点があります。そこで本研究では当院の症例を対象とし、HPC が必要十分量の末梢血幹細胞採取予測に有用か PBCD34 と比較検証します。本研究を通して、末梢血幹細胞採取予測をより短時間で効率よく行うことができれば、採取にかかわる業務の効率化、計画的な末梢血幹細胞採取への貢献が期待されます。

研究方法

末梢血幹細胞採取前に検査した静脈血中の CD34 陽性細胞数と HPC 数を比較し、HPC 数が治療に必要十分量の末梢血幹細胞の採取量予測に有用かを調査します。

研究期間

2022年3月23日(実施承認日)から2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテおよび末梢血幹細胞採取記録用紙に記録されている静脈血中 CD34 陽性細胞数、HPC 数、採取された CD34 陽性細胞数、患者体重あたりの CD34 陽性細胞数、白血球数、年齢、疾患情報等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

2022年3月9日作成 第1版

照会先の連絡先：

住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学医学部附属病院中央診療棟 A 3 階検査部

電話：052-744-2595

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院輸血部部长・検査部部长 松下 正

担当者：名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門 亀山 なつみ